

# 学生120人も手伝い 川口介護老人施設で夏祭り

車いすのお年寄りに優しく手を伸ばす高校生ボランティア―川口市安行のグリーンビレッジ安行



川口市安行の介護老人保健施設「グリーンビレッジ安行」(高瀬通汪施設長、入所定員

150人、通所定員50人)で26日、恒例の夏まつり「夏だ！祭りだ！粋だね安行201

8」が開催された。

祭りの皮切りは本館2階のホールで行われた入所者による器楽演奏会で、音楽大学を出た職員、小林恵子さんが歌唱指導して懐メロのパレード。「この歌は戦後の大変な時代を生き抜いた証しの歌。だからみんなでしよっちゅう歌う」と小林さんは話し、入所者たちがハンドベルを鳴らしながら「りんごの唄」や「青い山脈」を歌った。

伴奏は近くに住むボランティアの山下博之さん(80)。以前はレコード会社の営業マンで定年後に同園の送迎バスの運転手を務めた。「それも卒業してから老後のボランティアで伴奏を務めた。長崎県の高校時代にバンドをやっていた。喜んでもらえて、やりがいがある」

屋外では妹尾幸昌事務長がコンクリートに水をまくと、少し涼しくなった。栄養士やリハビリ担当の職員らがギョーザや焼きそば、そつめん、アイスや氷の店を出し、ボランティアの中高校生らが手伝った。安行東中3年の関根百香さんや浦和実業高校1年の谷川雄矢さんは「お年寄りにどう接するか学びたい」と話した。

ボランティアはほかに東京都大田区から駆け付けた日体大荏原高校ソフトボール部員たち20人や、戸田看護専門学校の生徒20人。中高大学生は120人も駆け付けた。

同園は戸田中央医科グループ(中村隆俊会長)の医療法人武蔵野会(中村毅理事長)が運営している。

(岸鉄夫)